



北海道国有林を取り巻く環境

北海道森林管理局

北海道の気候の特徴

世界気候区分では、温帯に属する本州に対し、北海道は冷帯（亜寒帯）に属し、気温・湿度とも低く、四季の変化がはっきりしているのが特徴。

一方、四方を海に囲まれ、海流の影響を受けるとともに陸からの季節風、海洋からの季節風の影響、中央部が脊梁地である地形的な影響で特徴的な六つの気候の区分。



- 道南地域
- 日本海沿岸地域
- 太平洋沿岸東部地域
- 太平洋沿岸西部地域
- 内陸地域
- オホーツク沿岸地域

北海道の森林の特徴

森林帯は、針葉樹林を特徴とする亜寒帯、落葉広葉樹林を特徴とする冷温帯、低木林・ツンドラからなる寒帯で構成。植物群の南下・北上の会合点でもあることから、亜寒帯針葉樹林と温帯広葉樹林がモザイク状に存在したり、混交林内でも両樹種がモザイク状に混交するなど多様な植物相が成立。

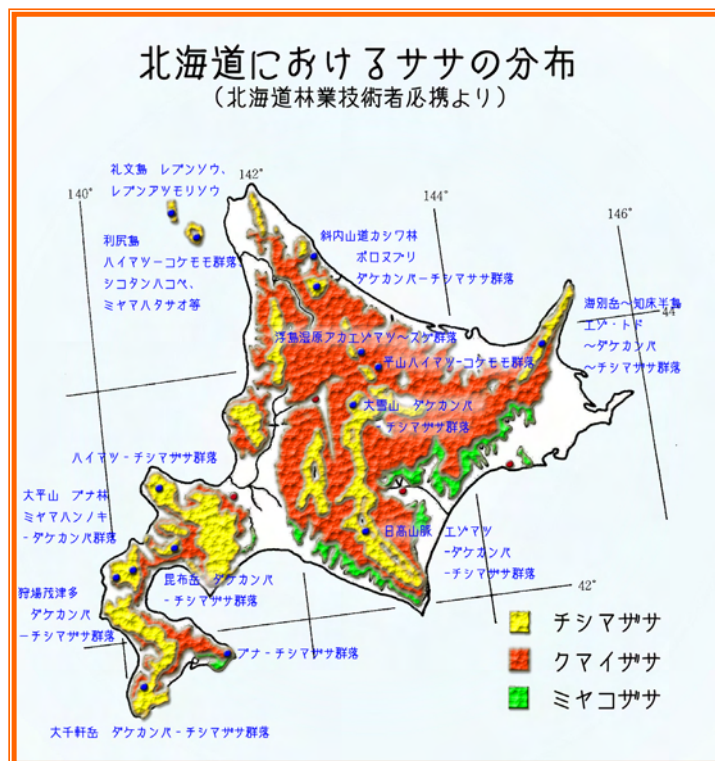
温帯北部の極盛相のブナ自生北限やヒノキアスナロの自生北限、亜寒帯の代表種の特ドマツの自生南限、アカエゾマツの南限が渡島半島のつけ根の黒松内低地帯周辺に見られ、ヒメコマツの北方変種のキタゴヨウマツの日本海側北限も存在。



引用:「森林百科事典」丸善株式会社
p17「日本の森林帯」只木良也氏

北海道の森林の林床植生の特徴

道内の森林の林床植生は、蘇類型、灌木型、スゲ型、シダ型、ササ型に大別でき、天然更新の良否に差異。特に、ササ型のかなりの部分はクマイザサ植生となっており、自然再生の取組みにおいては大きな課題。



引用：個別植生等
北海道
「北海道自然環境保全指針」

多様な生態系の成立

森林の7割が天然林で、高緯度にあることから、**低標高に亜高山性植生、高山性植生**が見られ、**湿原群落、海浜植生群落**が各地に発達。

ヒグマ、エゾライチョウ、イトウ、キタサンショウウオなどの**北方系動物の生息**、天然記念物に指定されている**道だけ**に生息する**タンチョウ、シマフクロウ**や**道**を主な生息地にする**クマゲラ**や**オジロワシ**など。

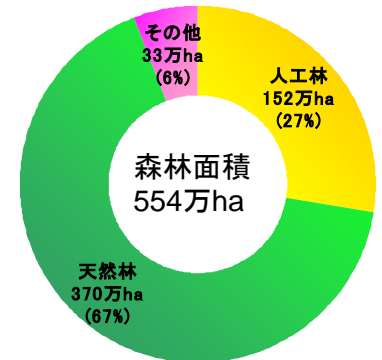
多様な動植物相を形成しているものの、**RDB**にされている**野生生物が多種多様**。



【レッドデータブック登録種数(抄)】

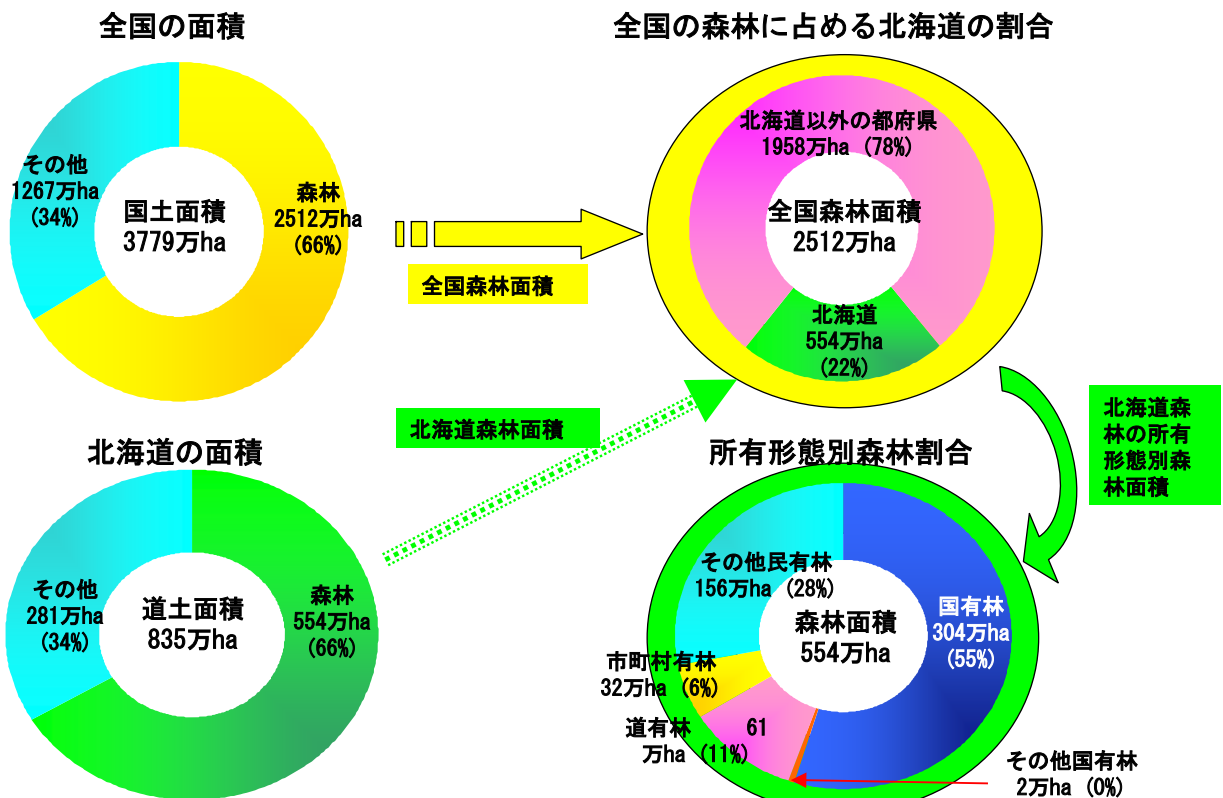
	環境省RDB	北海道RDB
植物	1959種	511種
ほ乳類	89種	27種
鳥類	137種	72種
魚類	108種	37種

【全道の森林面積】



引用: 北海道水産林務部
「北海道林業統計平成16年度版」
2005年4月1日現在

北海道の森林で国有林は大きな位置付け



国土面積: 国土地理院 全国都道府県別面積 (H18.4.1現在 (速報値))
 全国森林面積: 2005森林・林業統計要覧
 北海道森林面積: 北海道水産林務部「北海道林業統計」平成16年度版 2005年4月1日現在

木材供給における変化

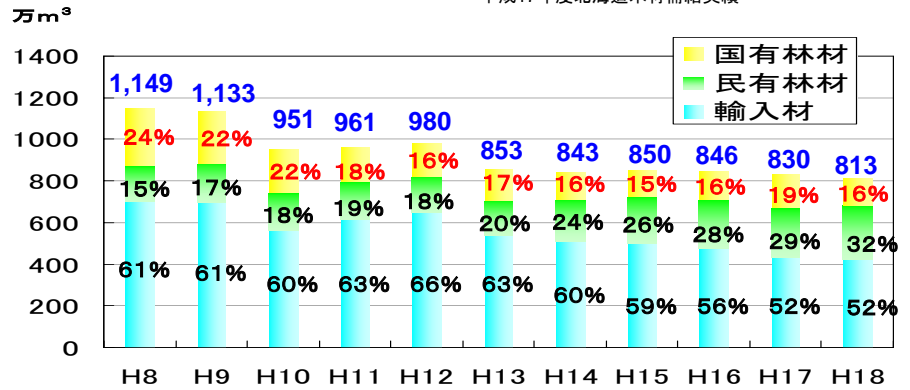
道内の木材需要量は近年800万m³程度で推移し、内5割弱は道産材、道産材の4割は国有林材で、ともに依存度は全国平均の2倍。
国有林材の供給は、近年、人工林にシフト。



林野庁HPより

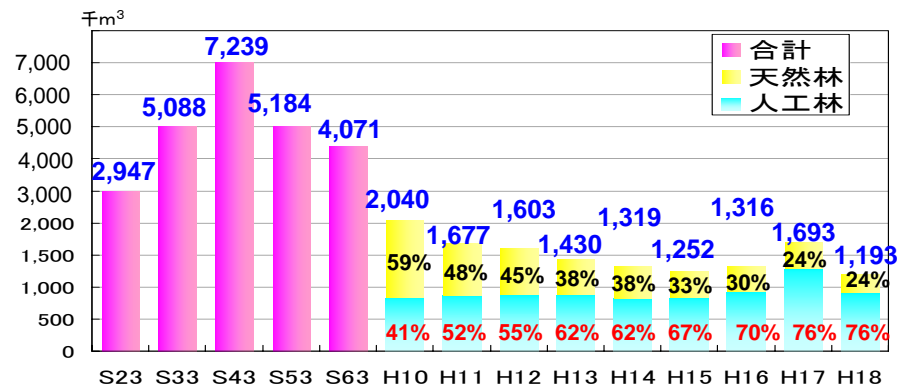
【供給元別木材需給量】

引用:北海道
平成17年度北海道木材需給実績



【年度別人天別伐採量及びその割合】

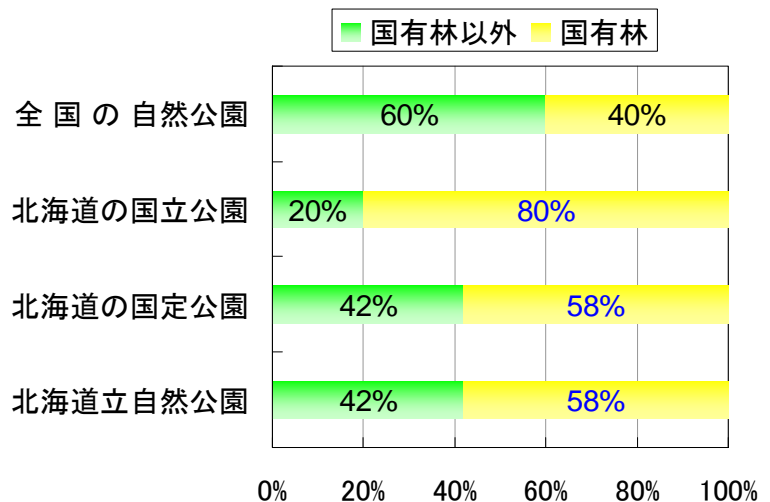
引用:林野庁業務資料(H18は見込み)



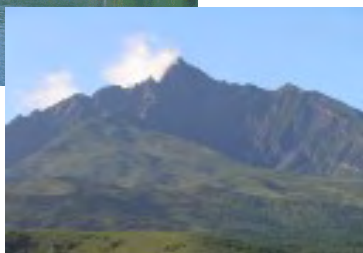
道内の国立公園等での位置付け

全国の国立公園等の総面積の内、国有林の占める割合は約4割であるのに対し、北海道内では、国立公園の8割、国定公園の6割近くが国有林となっており、北海道国有林は良好な景観や自然環境の代表。

【自然公園の面積割合】



支笏・洞爺国立公園 (洞爺湖)



利尻礼文サロベツ国立公園 (利尻山(富士))

引用:国有林の自然公園面積:林野庁業務資料

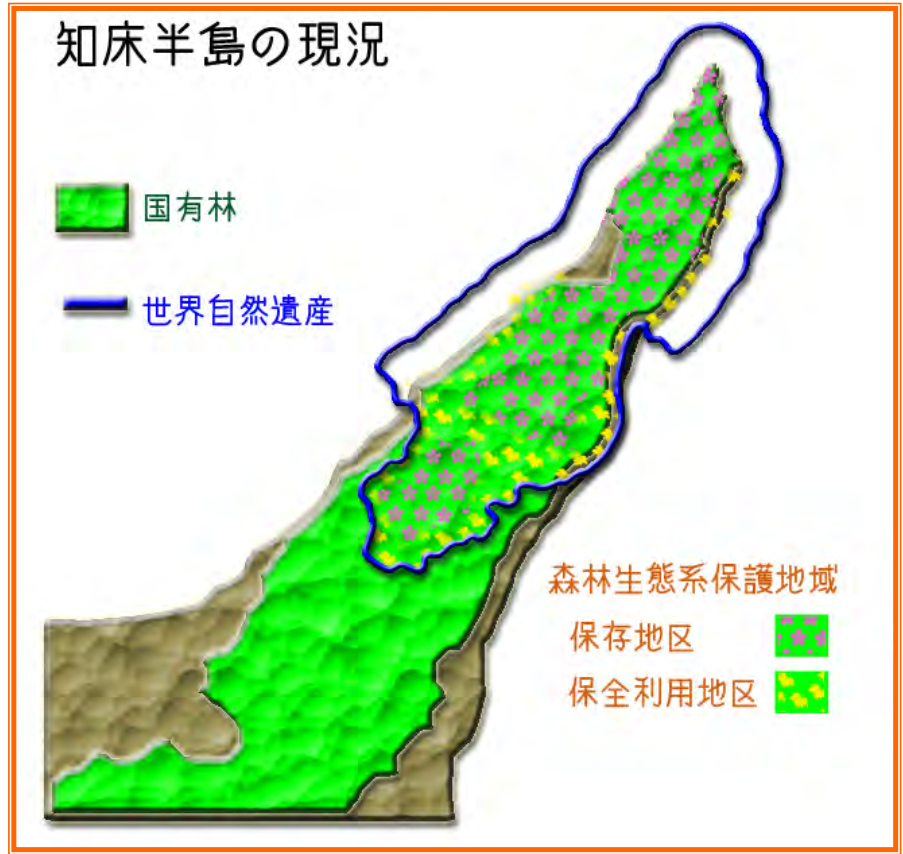
国有林以外の自然公園面積:平成18年度環境統計集

知床世界自然遺産の大部分を占める国有林

知床世界自然遺産として登録された陸域の94%が国有林野であり、そのすべてを「知床森林生態系保護地域」(約4万6千ha)として設定し、適切に保全・管理を実施。



知床森林センターより
http://www.shiretoko.go.jp/



引用: 林野庁業務資料

道民の意識は野生動植物の生息の場に期待

森林の機能に対する道民の意識のうち、「野生動植物の生息の場としての働き」は3番目で、全国のそれが6番目であるのに比べ、高い関心度。

【国勢調査等の結果】

■ 北海道水産林務部発表(H18) ■ 内閣府大臣官房政府広報室発表(H15)

森林に働きに対する期待	期待順位	
	北海道	全国
地球温暖化防止	1	2
災害防止	2	1
野生動植物の生息	3	6
水資源かん養	4	3
大気浄化	5	4
木材生産	6	7
保健休養	7	5

